

項 目 番 号 等								誤	正																							
章	節	項	(1)	(ア)	(a)	①	㊦			表																						
1	1	2		(キ)					調整を行うため、監督職員がその場に臨むことをいう。	調整を行うことをいう。																						
3	2	2		(イ)					製造所の製品とする。	製造所の指定する製品とする。																						
3	3	3	(1)	(ア)				表3.3.3	<table><tr><td>7</td><td>絶縁用シート (注) 4</td><td>—</td></tr><tr><td>8</td><td>保護コンクリート (注) 5 (注) 6</td><td>—</td></tr><tr><td>9</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	7	絶縁用シート (注) 4	—	8	保護コンクリート (注) 5 (注) 6	—	9	—	—	<table><tr><td>7</td><td>絶縁用シート (注) 4</td><td>—</td></tr><tr><td>8</td><td>保護コンクリート (注) 5 (注) 6</td><td>—</td></tr><tr><td>9</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>	7	絶縁用シート (注) 4	—	8	保護コンクリート (注) 5 (注) 6	—	9	—	—				
7	絶縁用シート (注) 4	—																														
8	保護コンクリート (注) 5 (注) 6	—																														
9	—	—																														
7	絶縁用シート (注) 4	—																														
8	保護コンクリート (注) 5 (注) 6	—																														
9	—	—																														
3	7	2						表3.7.1	アルミニウム製建具等のシール(注)5	アルミニウム製建具等のシール(注)4																						
4	3	5	(5)	(ア)	(a)	③		表4.3.1	上塗り	上塗り、せっこうプラスター用																						
4	4	5	(4)	(イ)	(a)				耐滑り性、標準色・特注色の別等は、特記による。	耐滑り性等は、特記による。																						
4	4	5	(4)	(オ)	(c)				外壁タイル接着剤張りのシーリング材は、次による。	有機系接着剤によるタイル張りのシーリング材は、次による。																						
4	5	2						表4.5.1 (注)5	製造所の指定による。	製造所の指定による。なお、表の所要量は、2回塗りの場合、2回分の使用質量を示す。																						
4	5	2						表4.5.1 (注)6	なお、表の所要量は、2回塗りの場合、2回分の使用質量を示す。	(削除)																						
4	7	3	(6)						(6) モルタル面のひび割れ部、	(5) モルタル面のひび割れ部、																						
5	5	5	(1)	(イ)					5.4.5(1)の(イ)から(エ)までによる。	5.4.5(1)の(イ)及び(ウ)による。																						
5	5	6		(ウ)					5.5.2から5.5.6による。	5.5.2から5.5.5による。																						
5	9	2	(1)						車椅子使用者便房出入口に設置する	車椅子使用者用便房出入口に設置する																						
5	9	2	(3)	(ウ)				表5.9.3 (注)2	自動ドア検知装置の製造業者の仕様による。	自動ドア検出装置の製造業者の仕様による。																						
5	9	2	(6)						車椅子使用者便房出入口に設置される	車椅子使用者用便房出入口に設置される																						
5	9	3	(3)					表5.9.5	<table><tr><td rowspan="2">開閉速度 (注) 3</td><td>開速度 (mm/s)</td></tr><tr><td>閉速度 (mm/s)</td></tr><tr><td colspan="2">手動操作力 (注) 3 (N)</td></tr></table>	開閉速度 (注) 3	開速度 (mm/s)	閉速度 (mm/s)	手動操作力 (注) 3 (N)		<table><tr><td rowspan="2">開閉速度 (注) 2</td><td>開速度 (mm/s)</td></tr><tr><td>閉速度 (mm/s)</td></tr><tr><td colspan="2">手動操作力 (注) 2 (N)</td></tr></table>	開閉速度 (注) 2	開速度 (mm/s)	閉速度 (mm/s)	手動操作力 (注) 2 (N)													
開閉速度 (注) 3	開速度 (mm/s)																															
	閉速度 (mm/s)																															
手動操作力 (注) 3 (N)																																
開閉速度 (注) 2	開速度 (mm/s)																															
	閉速度 (mm/s)																															
手動操作力 (注) 2 (N)																																
5	9	3	(3)					表5.9.5 (注)4	開速度は()内を適用する。	閉速度は()内を適用する。																						
5	9	3	(4)						車椅子使用者便房出入口に設置	車椅子使用者用便房出入口に設置																						
5	10	4	(1)						建具枠、戸等に堅固に取り付ける。	建具枠等に堅固に取り付ける。																						
5	11	4	(2)						かみ合せは、	かみ合せ長さは、																						
6	5	6	(1)	(イ)					特記がなければ、杉又は松とする。	特記がなければ、製材を用いる場合は、杉又は松とする。																						
6	8	2	(6)	(ア)				表6.8.1	<table><tr><th colspan="2">表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所</th></tr><tr><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所 (注)</th></tr><tr><td>酢酸ビニル樹脂溶剤系</td><td rowspan="4">一般の床、幅木等</td></tr><tr><td>ビニル共重合樹脂溶剤系</td></tr><tr><td>アクリル樹脂系エマルション形</td></tr><tr><td>ウレタン樹脂系</td></tr><tr><td>ゴム系ラテックス形</td><td></td></tr></table>	表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所		主成分による区分	施 工 箇 所 (注)	酢酸ビニル樹脂溶剤系	一般の床、幅木等	ビニル共重合樹脂溶剤系	アクリル樹脂系エマルション形	ウレタン樹脂系	ゴム系ラテックス形		<table><tr><th colspan="2">表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所</th></tr><tr><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所 (注)</th></tr><tr><td>酢酸ビニル樹脂溶剤形</td><td rowspan="4">一般の床、幅木等</td></tr><tr><td>ビニル共重合樹脂溶剤形</td></tr><tr><td>アクリル樹脂系エマルション形</td></tr><tr><td>ウレタン樹脂系</td></tr><tr><td>ゴム系ラテックス形</td><td></td></tr></table>	表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所		主成分による区分	施 工 箇 所 (注)	酢酸ビニル樹脂溶剤形	一般の床、幅木等	ビニル共重合樹脂溶剤形	アクリル樹脂系エマルション形	ウレタン樹脂系	ゴム系ラテックス形	
表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所																																
主成分による区分	施 工 箇 所 (注)																															
酢酸ビニル樹脂溶剤系	一般の床、幅木等																															
ビニル共重合樹脂溶剤系																																
アクリル樹脂系エマルション形																																
ウレタン樹脂系																																
ゴム系ラテックス形																																
表 6.8.1 接着剤の主成分による区分と施工箇所																																
主成分による区分	施 工 箇 所 (注)																															
酢酸ビニル樹脂溶剤形	一般の床、幅木等																															
ビニル共重合樹脂溶剤形																																
アクリル樹脂系エマルション形																																
ウレタン樹脂系																																
ゴム系ラテックス形																																

項 目 番 号 等								誤	正
章	節	項	(1)	(ア)	(a)	①	㊦		
6	9	2	(4)					第2種第1号	第2種第2号
6	11	4	(1)		(a)	③	㊦	厚さ、幅及び長さは表6.11.1により、	表層、厚さ、幅及び長さは表6.11.2により、
6	13	3	(4)	(ウ)				特記がなければ、B種とする。	(削除)
6	13	3	(6)	(イ)			表6.13.5	せっこうボードの種類	せっこうボードの目地工法
6	14	3	(3)					けい酸カルシウム板面の吸込止め	その他のボード面の吸込止め
6	16	3	(2)	(イ)	(a)	③		表6.16.2を標準とする。	表6.16.2とする。
6	16	3	(5)	(ア)	(b)			6.15.5(3)による。	6.15.5(3)(イ)(a)による。
6	16	3	(5)	(ア)	(c)			6.15.6(3)(イ)(a)	6.15.6(3)
6	16	3	(5)	(イ)	(f)			また、目地部の乾燥状態により適度の水湿しを行う。	(削除)
6	17	2	(3)					品質は表4.2.2[吸水調整材の品質]による。	品質は表4.3.2[吸水調整材の品質]による。
7	5	3					表7.5.2(注)4	下地調整に加えて、素地ごしえを7.3.3により行う。	下地調整に代えて、素地ごしえを7.3.3により行う。
8	20	4	(4)				表8.20.2	溶融亜鉛めっき面の仕上がり項目 傷・かすびき	溶融亜鉛めっき面の仕上がり項目 かすびき
9	3	2	(2)	(エ)				断熱材の損傷、めり込み及び付着不良	断熱材の損傷及び付着不良

※なお、上表に記載の内容の他に句読点等、体裁の修正を行っています。
標準仕様書を使用される際は、最新版をご使用ください。